

コード	201040601
記入日	H23.5.31

事務事業途中評価表

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石 英徳
担当者	小田 良彦

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	ごみ焼却施設管理運営事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20104	基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進	目コード	3
事務事業コード	2010406	事務事業名称	ごみ焼却施設管理費	細目コード	317
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画		法令・条例規則等	廃棄物処理法、新上五島町廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例、新上五島町一般廃棄物最終処分場条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	住民	(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	(平成22年度) ・本施設において必要な保守点検を実施すると共に、新上五島町管内から排出される可燃ごみ7,443 tの焼却処理を行った。 →需用費 55,466千円 →役務費 1,976千円 →委託料 151,891千円 →使用料及び賃借料 117千円 →工事請負費 55,335千円 →公課費 40千円	① 保守点検回数 (達成率分析)	36回	100%	実保守点検回数+計画回数	***** 平成22年度
		② 修繕工事回数 (達成率分析)	5回	250%	実修繕工事回数 / 予定回数	***** 平成22年度
		(達成率分析) 施設の安全を確保するため、予定通り保守点検を実施した。				
		(達成率分析) 修繕工事の当初予定回数2回の他、新たな修繕必要箇所が3箇所発生した。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		① スラグ等搬出量 (達成率分析)	735t	101%	平成22年度スラグ等搬出量 (実績) + 搬出予定量	***** 平成22年度
		② 安全稼働日数 (達成率分析)	365日	100%	安全稼働日数 / 年間日数	***** 平成22年度
		(達成率分析) スラグ・飛灰固化物の搬出量は減少したが、焼却炉工事に伴う底耐火物等の搬出量が増大した。				
		(達成率分析) 予定されていた保守点検等を実施したこと、運転維持管理が適正に行われたことで安全に稼働することができた。				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	208	208	172	36	36				
	② 回	36	39	34	2	5				
成果指標	① t	4,651	4,657	3,922	729	735				
	② 日	2,181	2,181	1,816	365	365				
総事業費 C (A+B)	千円	1,978,445	1,825,620	1,557,297	421,148	268,323				
直接事業費 A	千円	1,894,445	1,752,120	1,487,297	407,148	264,823				
人件費 B	千円	84,000	73,500	70,000	14,000	3,500				
内訳	従事職員数	人	12.0	10.5	10.0	2.0	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円	9,875	9,829	7,929	1,946	1,900			
一般財源	千円	1,968,570	1,815,791	1,549,368	419,202	266,423				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	一般廃棄物の処理については、地方自治体の責務である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	一般廃棄物については、人間の活動に伴い必然的に発生するものであり、時代情勢や環境が変化しても、それを適正に処理することは地方自治体の責務である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	新上五島町管内から排出される可燃ごみを対象として焼却処理を行っており、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	焼却処理については、現在の進め方でよいが、焼却後に発生する熔融スラグを最終処分場の覆土材としてのみ利用していることから、最終処分場の延命のため埋め戻し材等として有効利用する必要がある。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	技術的な裏付とインフラ整備が必要であるが、熔融スラグを埋め戻し材等に有効利用することを検討する。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	焼却処理を島外の自治体若しくは民間業者へ委託することになり、多額の処理委託料が発生することになる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業がない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	焼却処理業務を停滞させてしまう可能性があり、環境や住民に対し多大な悪影響を及ぼす。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	運営管理については、既に民間委託されており不可能である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	最終処分場及びリサイクルプラザへの搬入手数料との整合性や維持管理に係る経費面も考慮した場合、将来的には検討を要する。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はないと思われる。
		有効性	熔融スラグ有効利用のための技術及びインフラ整備が確立されれば、早急に対応する必要がある。
		効率性	現在は搬入受付業務終了後、集計された1日分の受付表をもとに役場にて納付書を作成し、搬入者に郵送している。ごみ焼却施設にて搬入量に応じた金額が徴収可能となれば、未納者と未納に係る事務処理業務が軽減すると思われる。
		課題に向けた改善策	計量業務に携わる委託業者社員を現金出納員として承認し、平成26年度からの包括的運営管理業務委託契約時において見直しを検討する。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	熔融スラグの有効活用は前回から指摘されており、引き続きその有効策を検討し方針を示すこと。
効率性		平成22年度から包括的管理運営委託で実施し、直接事業費の削減が図られているが、搬入手数料の未納については、その対応策を早急に検討すること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。